

\\ しもやまの魅力や地域の活動を **知って** **届けて** **広めよう** //

WE LOVE しもやま



世界ラリーが今年も下山にやってきた！

11月9日（日）、世界ラリー選手権（WRC）三河湖SS（スペシャルステージ）が開催されました。下山地区を世界ラリー選手権の車が走るのは、4回目となりました。羽布町の三河湖公式観戦エリアでは、約2,200名の来場者が訪れました。

当日は雨模様でしたが、ラリージャパンの名物である、ラリーカーが神社前を直角に曲がる「神（ジン）ジャンクション」での疾走を始めとして、迫力あるラリーカーの応援で会場は熱気を帯びていました。

しもやまラリー実行委員会では、世界ラリー選手権三河湖SSを契機に、事前の機運醸成から本番まで、下山地区の魅力を大いに発信できました。御協力いただいた皆さま、ありがとうございます！



▲実行委員・ボランティアの集合写真

【フォトギャラリー】～写真で世界ラリー選手権三河湖SSを振り返ろう！～



▲三河湖公式観戦エリア
神（ジン）ジャンクション



▲和合住民観戦エリア
フィニッシュ地点を目前で



▲まどいの丘ポディウム
歓喜の瞬間に立ち会い



▲三河湖園地リグルーピング
出発前の競技車両が勢ぞろい



▲中学生ボランティアの皆さん
下山の魅力自作啓発物で発信



▲リエゾン応援
多くの場所で旗が飾られていました

ラリージャパン2026が決定！次回は半年後！

令和8年の世界ラリー選手権の日程が公表されました。今後も下山地区一体となって、応援をしましょう！

【開催日程】

令和8年5月28日（木）～31日（日）

※三河湖SS開催は、現時点では未定



一緒に活動してくれる仲間を募集しています！

しもやまラリー実行委員会では、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。「下山が好き！」「ラリーが好き！」という方、一緒に下山地区のラリーを盛り上げてくださいませんか？

イベント運営の補助や商品・啓発品の作成、情報発信など様々な活動があり、様々な関わり方が可能です。皆さまをお待ちしています。



豊田市
ホームページ



しもやまラリー
実行委員会
ホームページ



しもやまスマイルプラン後期計画の意見・感想を募集します

下山地域まちづくり推進協議会では、「しもやまスマイルプラン」の後期計画について、本年度、策定作業を進めています。このプランは私たちが住む下山を子どもたちの世代に引き継ぐために、10年先の下山について考え、描いた未来の姿を実現するための行動計画です。

この度、前期計画の取組状況や地域の動向を踏まえ、主要団体や各自治区まちづくり部会等で協議を重ねた結果、後期計画の素案が完成しました。概要は以下のとおりで、全文は1月5日から1月23日までの間、ホームページ等から閲覧できます。

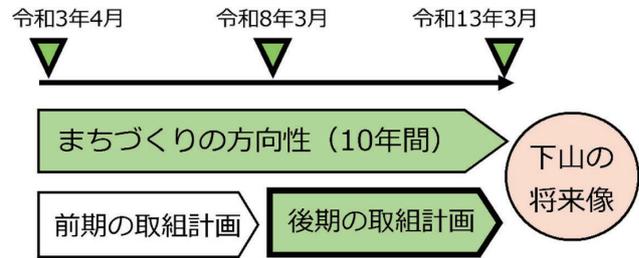


▲まちづくり推進協議会での検討の様子

【下山の10年後の将来像】子どもの声が 聞こえ、笑顔で暮らせるまち しもやま

【まちづくりの方向性】

1. 下山に関わる人を増やして活力あるまちづくり
2. 住民主体の地域活動で持続可能なまちづくり
3. 安心感とワクワク感が実現できるまちづくり



自治区別プランの 主な取組を紹介します



- ① 4つの組の合併を段階的に進める
- ② 住民のつながりを強化する（地域活動の継続）
- ③ 関係人口・移住者を増やす（空き地・空き家活用、受入態勢づくり）



- ① 各家の住宅等の未来を考えるとともに、定住人口の確保を推進する
- ② 高齢者が地域の一員として、生き生きと暮らし続けられる地域づくり
- ③ 子どもや子育て世帯が地域の一員と感ずることのできる地域づくり
- ④ 誇れる大沼の歴史、文化、スポーツ等や美しい景観を次世代に継承する
- ⑤ 持続可能で未来につなぐ大沼まちづくりの推進



- ① 定住・移住を促進して人口の維持を目指す
- ② 農地や山林を継続的に維持管理しよう
- ③ 自然の良さを守り、育てよう
- ④ 地域活動の維持や発展に取り組もう



- ① 自治区運営を次世代に引き継ぐためのあり方検討
- ② 住民同士のつながりづくり
- ③ 田平沢転出者との関係づくり
- ④ 移住定住の促進及び景観の維持



- ① 地域をあげた移住者の受入態勢と受皿づくり
- ② 子どもやお年寄りが集える場所づくり
- ③ 区民が自治区活動に参画したくなる地域づくり
- ④ 周辺、地区内事業所との関係づくり



- ① 定住・移住の促進（空き家活用、移住者受入の仕組みづくり）
- ② 住民同士の支え合い体制整備
- ③ 農山村の魅力や景観の維持・向上
- ④ 自治区運営の維持・改善（次世代に引き継ぐためのお役や行事の再編）



- ① みんな生き生き まめになりん
- ② お互い見守り、チョット助けあえたら安心だらあ
- ③ 「女性が元気は、家庭も元気、地域も元気」だがん
- ④ 早めの避難が安全じゃん
- ⑤ 明るく楽しい自治区にしまいか

分野別プランの主な取組を紹介します

下山を担う仲間を増やそう



1 定住・移住

～下山を担う仲間を増やそう～

- ① 下山の暮らしの魅力向上と情報発信の強化
- ② 空き家・空き地の発掘、利活用の促進
 - ・ 空き家・空き地情報の整理及び活用
 - ・ 空き家・空き地の登録促進
 - ・ 空き家の成約促進
 - ・ 空き家予備軍へのアプローチによる登録促進
- ③ 地域ぐるみの移住者受け入れ態勢の整備
 - ・ 移住者の自治体運営の担い手育成
- ④ 下山への愛着の形成
- ⑤ 多様な方法での宅地供給

顔の見える地域をつくろう



6 交流

～顔の見える地域をつくろう～

- ① 地域内の交流促進
- ② 地域外との交流促進

地域内交流

地域の良いところを発信しよう



7 観光

～地域の良いところを発信しよう～

観光

下山の産業をみんなで支えよう



8 産業

～下山の産業をみんなで支えよう～

- ① 既存の産業の継承と新しい産業の創出

産業

美しい農村風景を守ろう



9 農地保全

～美しい農村風景を守ろう～

- ① 農地の適正管理の推進
 - ・ 農作業受委託システムの拡充
 - ・ 地域計画の目標地図の精度向上
 - ・ 住民による粗放的な作物による農地管理

農地保全

子どもはみんなで育てよう



2 子育て・教育

～子どもはみんなで育てよう～

- ① 地域で支える子育て環境の充実
- ② 地域と連携した教育の推進



身体も心も元気で暮らそう



3 健康・福祉

～身体も心も元気で暮らそう～

- ① 下山の健康づくり・地域福祉の推進

暮らしを守る道路をつくろう



10 基盤整備

～暮らしを守る道路をつくろう～

- ① 道路整備

基盤整備

災害に負けない地域をつくろう



4 防災

～災害に負けない地域をつくろう～

- ① 災害に備えた地域づくり

下山の誇りを受け継ごう



5 伝統・文化

～下山の誇りを受け継ごう～

- ① 地域の伝統・文化の魅力発信と継承

11 生活交通【新規】

～安心して利用できる地域交通をつくろう～

- ① 誰もが安心して利用できる持続可能な地域交通の実現
 - ・ 高校生が安心して通学できる仕組みづくり
 - ・ 中高生や高齢者への利用支援策の検討
 - ・ 地域バスの利用促進

ご意見・ご感想をお寄せください！

提出期間中に、下山支所窓口またはホームページで後期計画の素案を閲覧できます。
皆様のご意見やご感想をお聞かせください。

【お聞きしたいこと】プランに対するご意見、ご感想など

【提出できる人】下山地区に住んでいる人は子どもからお年寄りまでどなたでも

【提出・問合せ先】下山支所地域振興担当 電話：0565-90-2111

【提出方法】メール、FAX、郵送。様式は自由ですが、名前、住所、年齢を明記してください。
メール：shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp FAX：0565-90-3344
郵送：〒444-3242 大沼町越田和37-1 豊田市役所下山支所あて

【提出期間】令和8年1月5日（月）から1月23日（金）まで



▲ホームページは
こちらから



阿蔵自治区で「収穫祭」が開催されました！



▲炭火で五平餅を焼く様子

11月2日（日）、阿蔵自治区で収穫祭が開催されました。このイベントは、阿蔵自治区すまいるプラン会議の「住民の繋がりを強化する」グループが、地域の女性部の協力を得て実施したものです。当日は、近くのグループホームの入居者をはじめ、地域の高齢者や子どもたちなど、約50名が参加しました。

会場では、地域で収穫されたお米を使って五平餅づくりが行われました。参加者は一人ひとりが串にごはんを付け、味噌を塗って香ばしく焼き上げていきます。焼きたての五平餅を頬張ると、「上手に焼けて美味しいわ！」といった声があちこちから聞かれました。子どもたちも大人に教わりながら手際よくごはんをこね、高齢者に焼き加減を確かめてもらうなど、世代を超えた交流が生まれていました。

また、会場では焼肉や豚汁などの振る舞いも行われ、参加者は思い思いに談笑しながら食事を楽しみました。久しぶりに顔を合わせる地域の方々も多く、「こうしてみんなで集まれるのはいいこと」「人は少ないけど、続けていきたい」といった声も聞かれ、終始にぎやかで温かな雰囲気に包まれました。

収穫の喜びを分かち合いながら、地域の絆を改めて感じるひとときとなり、来年の開催を楽しみにする声も多く聞かれました。



▲子どもたちが五平餅を手作りして食べる様子



令和7年分確定申告 無料税務相談所の予約に関するお知らせ

各地区の無料税務相談所は、全て 事前予約制（先着順）になります。

（予約なしでの相談はできません。また、予約は定員になり次第、締め切りになります。）

予約は、「LINE予約」か「電話予約」のいずれかの方法で行ってください。

また、下山支所では、確定申告の相談、受付はできません。

詳しい日程及び予約方法は、広報とよた1月号または豊田市ホームページをご覧ください。

	LINE予約	電話予約
受付開始 (予定)	令和8年1月9日（金）以降 午前9時から	令和8年1月13日（火）以降 会場ごとに設定された予約受付日時
受付方法	①豊田市のLINE公式アカウントを 友だち追加する ②広報とよた1月号に掲載の二次元コードを読み取り予約	豊田市役所 市民税課 (0565-34-6617) へ電話で予約

問合せ 豊田市役所 市民税課

電話0565-34-6617（直通）



世界ラリー選手権 (WRC)は好評のうちに閉幕となりました。皆さんはWRCを観戦されましたか？ 観戦エリアやリエゾン区間での応援など、盛り上げていただきありがとうございました。

昨年に引き続き、解説者の一人としてミンミンさんが生実況してくれた、和合の住民観戦エリアの様子をお届けします。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、SSのトップバッターとして勝



▲実況席の様子

田選手が登場すると、会場には大きな声援が響き渡りました。手旗を振って応援する人、スティックバルーンを叩いて盛り上げる人、「ナイスラリー！」の合言葉で声を掛け合う人など、それぞれのスタイルで応援が繰り広げられ、観戦会場は大いに盛り上がりました。ミンミンさんとラリードライバーの大山夫妻の生実況では、各選手の走りやラリーの裏話などを交えながら、初めての方でも楽しめる内容で会場を盛り上げてくれました。



▲リエゾン応援中のミンミンさん

本名：洪銘蔚（ホン・ミンウイ）
下山地区在住のラリードライバー
豊田市わがまちアスリート

実況を終えたミンミンさんにインタビュー

Q：WRC2025はいかがでしたか？

A：日本のラリーは安全確保のためラリーカーと観客席の距離が遠い傾向にありますが、和合の住民観戦エリアは、かなり近い場所で大迫力の観戦ができました。また今年は当観戦エリアにも屋台やキッチンカーが出ており、あったかい地元の近藤しいたけ園による山包（しいたけ肉まん）やカレー等があり、待ち時間もおいしく、楽しく過ごせました。

大きな声援を受けて登場した勝田選手ですが、プレッシャーも大きかったと思います。私も地元で走る大会は他の地域で走るよりもプレッシャーを感じます。地元の注目や期待が嬉しい反面、その期待に応えたいという思いがあるからです。

【今回の学び】

専門的な話だけではなく、各選手のエピソード等を踏まえた実況により、ラリー競技や選手に親しみをもって観戦できました。

下山地区データ

(11月1日現在)

人口
3,867 人
(-76)

男性
1,929 人
(-37)

女性
1,938 人
(-39)

世帯数
1,635 世帯
(-11)

発行者情報

編集・発行

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





【社協下山支所だより】

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



健康・福祉

まどいの丘では、子育て中のママが笑顔で活躍中です！

「子育ても仕事も、地域の温もりに支えられて」急な早退やお休みにしても「お子さんを大事にしてね」と声をかけてくれる仲間たち。利用者さんと我が子が笑顔でふれあう姿に、安心と喜びを感じながら、日々の成長とともに歩んでいます。N・O



「子育てと両立できる温かな職場に支えられ」安心して産後復帰できました。私のように迷っている方の背中を、そっと押せたら嬉しいです。S・S



「子育ても仕事も、地域の中で」家事や育児、家業の手伝いと仕事を、地域のあたたかさに支えられながら、無理なく続けられる日々。子どもたちの笑顔と共に、私も少しずつ成長中です。T・K

「子育てと両立しながら、職場の支えでケアマネジャー資格を取得」時短勤務で働いています！柔軟な働き方が私の成長を後押ししてくれました。K・H

「新米ママで新米ケアマネ。毎日が学びの連続」“誰かの役に立ってる”って、すごく嬉しい。職場のあたたかい支えと、保育園の協力が助けられながら働いています。だからこそ、子どもと過ごす時間は、何よりも大切にしています。Y・M



「働くって、人生を輝かせること」

まどいの丘では、職員一人ひとりが、生活のためだけでなく、自分の人生の大切な時間をここで過ごしています。介護の仕事は、誰かの笑顔をつくる仕事。そして、自分自身の心も育ててくれる仕事です。「うちのママは、まどいの丘で働いてるんだよ」そんなふうに、子どもたちが誇りに思ってくれるような職場でありたい。働くみんなが、生き生きとキラキラできる場所でありたい。まどいの丘の「地域とのつながり」や「子どもたちとのふれあい」を大切にしています。

あなたの人生の大切な時間を、まどいの丘で輝かせてみませんか？ 豊田市社会福祉協議会下山支所まどいの丘 ☎90-4005



しもやまスマイルフェスタ

下山中学校 文化祭
共同開催

10/26(日)

多くのご来場ありがとうございました



▲オープニング



▲下山中学校文化祭(合唱)



▲下山中文化祭(展示)



▲芸能



▲体験(じゃんけんゲーム)



▲体験(モルック)



▲展示



▲販売



▲中学生ボランティア



▲こども商店街



▲仮装表彰



▲クロージング



▲しもやまスマイルアワード

受賞おめでとうございます

今年度のしもやまスマイルアワードの受賞者は次のみなさんです。

【しもやまスマイル金賞】

【しもやまオリジナルスマイル賞】

左から 大島 亜美さん

中央から 吉田セツ子さん

清水三代治さん

鈴木 久子さん

株式会社 西三交通さん

小嶋 静子さん

川合 義嗣さん

報告



FIA世界ラリー選手権(WRC)

「フォーラムエイト・ラリージャパン2025」

11月6日(木)~9日(日)、下山支所ロビーにてパブリックビューイングを開催しました。地域住民が、スティックバルーンやラリーの手旗で応援し観戦が盛り上がっていました。



お知らせ

1月のロビー展示

次井 みな子さん ハギレ作品展

年末年始 休館のご案内

12月28日(日) ~

1月5日(月)まで

炭のこたつ

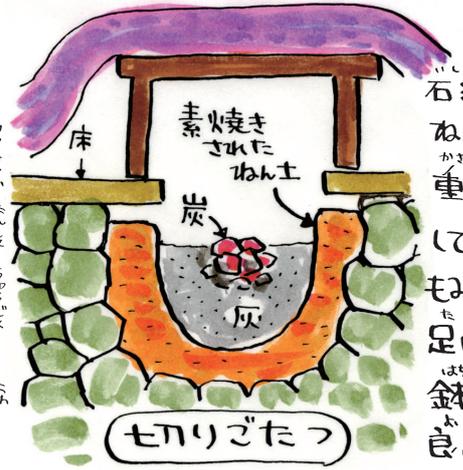
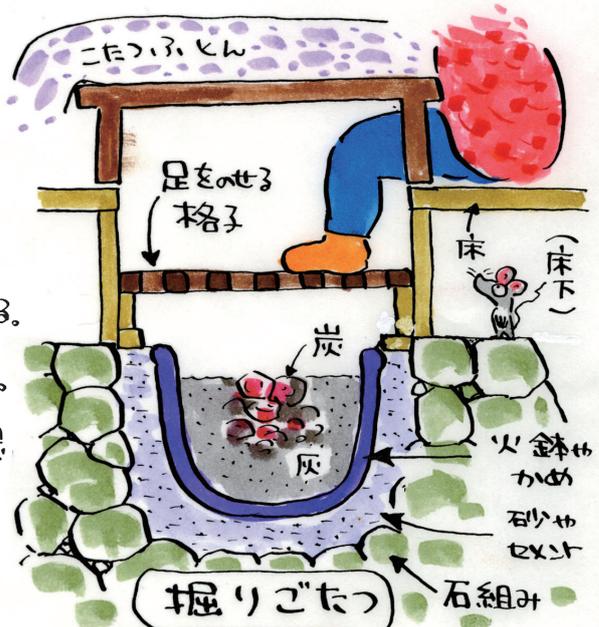
せやまの あんこ



「こたつ」の語源は「土」から来ています。土は暖かいです。炭のこたつは、あたたかかったなあ、と、こたつ。昔のこたつは炭のこたつ。床に腰かけて足をいれる掘りこたつや、小さい炉を切っやぐらと布団を乗せて暖まる切りこたつ、こたつのやぐらに炭のあんかを入れる。今の電氣こたつみたいは好きな場所において使うのもあったよ。中でも掘りこたつはみんなが足を入れるから大きさもあって周りの床もほんのり暖かかったし、小さい部屋の切りこたつに家族が集まれば寒い冬もわいわいにぎやかで暖かい団らんを過ごせたんだよ。

眠る時間になると、こたつの炭は周りの乾いた灰をかぶせてうずめておけば灰の中でほこほこ暖かく部屋もすっかり冷えてしまわず翌朝起きてすぐ入っても温いしうずめておいた火は今日のこたつの種火になって炭を足してすぐ暖まった。なので炭のこたつは冬が来て火が入ると一冬中同じ火を大事に使ったんだよ。

- ① こたつの火は、まず灰に穴をあけ 粉炭(くず炭・木の皮は火花が出るが、灰にうずめると使える)を入れ、上に火のついた大きめの炭を一つ二つ入れる。
- ② 火が回ったら灰をかぶせて火加減ね。
- ③ 夜は火の上に乾いた灰をかぶせておく。
- ④ 朝残り火を掘り下に大き炭と粉炭を入れて残り火をかぶせる。炭は翌日の種火になる。



石組みに丸めたねん土を、空気を入れぬお重ねて投げ付けて、厚くして表面をならし、乾いたらもみがらくん炭を三日三晩足しながら火然やす。鉢が素焼きになり良い灰も出来る。



炭のこたつを楽しむためには、残念だね。今ではよほど隙間風が入る家でないと一酸化炭素中毒が怖くて